「幹細胞の培養法・培養工学のためのコンソーシアム」
第6回シンポジウム（開催報告）

多能性幹細胞の培養法と培養工学をテーマに、産学が一体となって要素技術を持ち寄りながら、その発展に繋げていく取り組みとして、2016年にコンソーシアムを構築し、今年で6回目となるシンポジウムを、2022年11月19日（土）午後、3年ぶりのオンサイトにて開催いたしました。総勢80名（アカデミア29名、企業51名）の方々にご参加いただき、一般講演ならびに特別講演では、幹細胞の培養法・培養工学の最先端の内容をご紹介頂き、活発な議論が繰り広げられました。来年第7回シンポジウムも、引き続きよろしくお願い申し上げます。

日時：2022年11月19日（土） 13：30 ～17：10
場所：大阪大学吹田キャンパス コンベンションセンター（MOホール）
共催：大阪大学大学院工学研究科（テクノアリーナ最先端研究拠点 「細胞製造コトづくり拠点」）

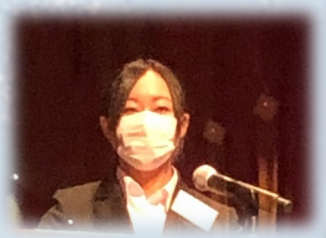
【開会挨拶】
大阪大学大学院 工学研究科 紀ノ岡 正博 先生

【特別講演】 （講演50分･質疑応答10分）
座長：大阪大学大学院 工学研究科 紀ノ岡 正博 先生

「肝硬変症に対する次世代再生療法の開発
ー間葉系幹細胞、細胞外小胞（エクソソーム）ー」
新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野
寺井 崇二 先生

【講演】 （発表時間10分、質疑応答１5分）
座長：京都大学 iPS細胞研究所 未来生命科学開拓部門 中川 誠人 先生

①「臨床グレードのiPS細胞の製造と品質管理」
公益財団法人 京都大学iPS細胞研究財団 研究開発センター
塚原 正義 先生



②「情報生命科学による幹細胞研究の新展開」
京都大学iPS細胞研究所 未来生命科学開拓部門
河口 理紗 先生

座長：大阪大学蛋白質研究所マトリクソーム科学（ニッピ）寄附研究部門 関口 清俊 先生

③「iPS細胞を活用した動脈硬化治療法の開発」
東北大学大学院医工学研究科 分子病態医工学分野
豊原 敬文 先生

④「血管化組織の構築と医薬食応用」
大阪大学大学院工学研究科
松崎 典弥 先生

⑤「iPSC技術とゲノム編集技術によるCART療法で難治性がんを克服する」
順天堂大学大学院医学研究科 血液内科学
安藤 美樹 先生

【閉会挨拶】
大阪大学蛋白質研究所
マトリクソーム科学（ニッピ）寄附研究部門 関口 清俊 先生

事務局：味の素株式会社 アミノ酸部 原田･板屋
（E-mail：stemfit@asv.ajinomoto.com）